

三春滝桜

まるで桜の花が滝のように流れ落ちるように見える。福島県三春町にある三春滝桜は樹齢 1000 年以上になる巨木。樹高 12m、根回り 11m、幹周り 9.5m、枝張り東西 22m、南北 18m が風に揺られ桜が咲き乱れる光景は圧巻の一言に尽きる。1922（大正 22）年に国の天然記念物に指定されたベニシダレザクラ。更には新日本名木 100 選の中でも名木ベスト 10 にも選ばれている。

満開のピークは既に過ぎていた。しかし残る桜を一目でも見たいとの思いで訪ねてみた。まるで恋人に会いに行くような気持で。遠くからそれらしき桜が見えてきた。思わず息を呑む。この三春滝桜は小高い丘の途中に 1 本だけ巨木として聳え立っていた。その周りを道が設けられ一周して見て回れるようになっている。淡いピンクの花びらが滝の如く様々な角度からのアングルで楽しませてくれる。そして元気盛りの菜の花が取り囲み黄色い色を添えたコラボが実に美しかった。



日本人は桜が好きである。花見といえば桜の花を挿す。日本国中桜前線と共に春を感じれる新しいスタートでもあるのだ。若いころは仕事と人生に必死であった。桜や紅葉を楽しむなどの余裕は全くなかった。生きていくのが精一杯であった。しかしやはり日本人。年齢を追うごとに心身ともに変化していく。桜の美しさが分かるようになってきた。

この三春滝桜は日本三大桜に数えられ、山梨県の山高神代桜、岐阜県の根尾谷淡墨桜と共に一生に一度は見しておくだけの価値がある名木だ。桜の周りを歩くと何か不思議なパワーが身に宿っていくような感覚を覚えたのは私だけではあるまい。

撮影 2016 年春

